

# ねれかて

豊田市立平井小学校

校長だより

令和6年 5月23日

ねばりづよい子、れいぎ正しい子、からだをきたえる子、てをつなぐ子

## 1年生も平井小学校の生活に慣れてきました

1年生が平井小学校に入学して約1か月半が経ちました。学校生活の様々な場面で、小学校生活に少しずつ慣れてきている様子が見られます。給食時には、先生の話をよく聞いて**自分の席で静かに待ち、順番に自分の給食を配ることができる**ようになりました。また、生活科の学習であさがおを育てており、登校時に昇降口の前ではあさがおの鉢にペットボトルで**欠かさず水やりを行う様子**が見られます。こうした学習は、2年生の野菜の栽培や3年生の植物の成長の学習へとつながっていきます。



登校の際には、校門で元気よくあいさつができる1年生の姿が見られるようになりました。子どもたちの元気のよいあいさつと笑顔に出会うと、今日もまたエネルギーをもらったなとうれしくなります。さて、どの学年の子どもたちも最初の緊張がほぐれて落ち着いて毎日を過ごしていますが、疲れが出てくる時期でもあります。学校では、**できるようになったことを一つ一つ認めながら、子どもたちの成長に向けて力を尽くしたい**と考えています。

保護者の皆様には、今後**もご家庭での見守りや励まし**をよろしくお願いします。

## 「えがおタイム」で子どもたちの かかわりの力を育みます

今年度も、**毎週金曜日に10分間の「えがおタイム」**を行っています。えがおタイムとは、**子どもたちが4～5人程度のグループになりSST（ソーシャルスキルトレーニング）を行う**ものです。具体的な内容の一例は、ゲーム感覚で「好きな動物」「今日の朝ごはん」などのお題に順番に答え、互いに深掘りしていきます。名城大学の曾山和彦教授から「幸せな学校・学級づくり」のための研修を受け、子どもたちが**友だちとかかわる力の育成や自己肯定感を育むことの大切さ**を学び今年度も継続しています。また、笑顔タイム活動後には、子どもたちの気づきや感じたことをシェアリングすることにより自他理解に努めています。



今年度は、授業の中でSSTを取り入れたグループでの活動を推進し、**仲間と協働的に学ぶ平井小学校の児童の姿が増えるよう**引き続き活動を進めていきます。

## 学習に取り組む子どもたち(1年)

1年生の算数の授業では「いくつといくつ」の学習の学習内容の中の7や8の数の分解や合成の仕方を考える学習を行いました。



子どもたちは7や8の分解を考える中で、デジタル教科書等を用いて「7は1と6になるよ」「6と1でも7になるね」「1と6, 6と1は反対になっている」など、気付いたことや考えたことを発表していました。こうした活動を通して、数を多面的に捉え、数の構成の理解を深められるようになります。また、おはじきなどの具体物を操作することによって数の合成・分解の仕方を考えるなど、数の構成の理解を深めるとともに、学ぶことのよさを感じて、生活や次の学習に生かすことができるようになります。

今後も、数学的活動を通して自分の考えをしっかりともち、友達の意見や先生の説明を聞くことにより学習内容への理解が深まる授業づくりに努めていきます。

**7**

7の分解と合成の学習シート。上部には7つのリンゴのイラストと、7を構成する数字の組み合わせ（1と6, 2と5, 3と4）が示されています。下部には「7になあれ」という課題があり、2つの会話シーンが描かれています。

**8**

8の分解と合成の学習シート。上部には8つのおはじきのイラストと、8を構成する数字の組み合わせ（1と7, 2と6, 3と5, 4と4）が示されています。下部には「8このおはじき」という課題があり、2つの会話シーンが描かれています。